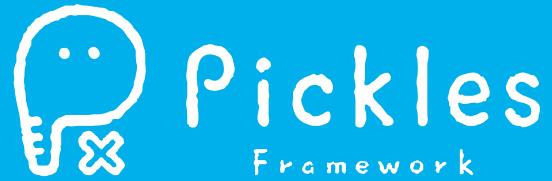


Pickles Framework

Introduction of “Pickles Framework”

2014.1.26a4 Tomoya Koyanagi



Pickles Framework とは何ですか？

Pickles Framework は、
静的で大きなウェブサイトを効率よく構築できる
オープンソースのフレームワークです。

データベース不要、PHP5が動くサーバーに手軽に導入でき、
プロトタイプ制作を中心に進めるような
柔軟な制作スタイルを実現します。

<http://pickles.pxt.jp/>



Pickles Framework は、
ウェブ制作のプロのための、
ウェブ制作ツールです。

ただし、マークアップエンジニアのためだけの
ツールではありません。

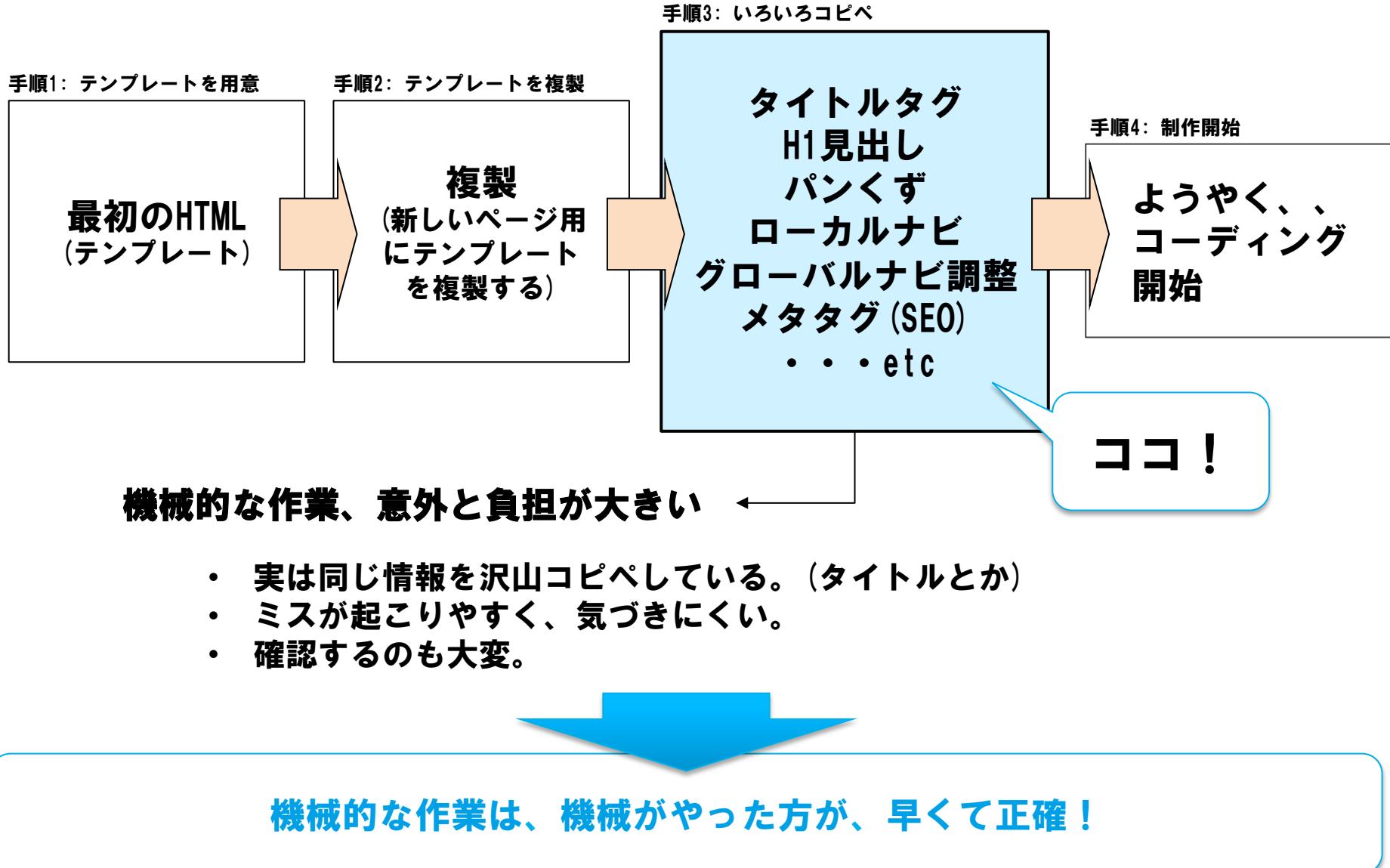
プロのウェブ制作の現場に携わる、
チームのためのツールです。

どういう仕事が得意なの？

“静的で大きなウェブサイト”が得意です。

- ・ 数100ページ、数1000ページ、数10000ページ規模のウェブサイト。
- ・ 10~20人の体制で作るような、大きなウェブサイト。
- ・ スタティックなHTMLで表現する、たとえば企業サイトやカタログサイト。
- ・ ニュースサイトなど、頻繁に新しいページが追加更新されるようなウェブサイト。

従来のコーディングの手順は、“機械的な作業”がなかなか多いです。



Pickles Framework にできること。

1. ページ名やパンくずの階層などの情報を、[CSVファイルで一括管理](#)できます。
2. ヘッダーやフッター、ナビゲーション、パンくず、メタタグなど、
スタンダードなウェブデザイン上のルール化できる要素や、
コピー＆ペーストする作業のほとんどを、[自動的にコーディングします](#)。
3. デザインの[テーマを複数定義](#)して、簡単に切り替えたり、再利用できます。
4. たくさんの[スタティックなHTMLファイルを生成](#)します。

ようするに、
たくさんのHTMLを制作するときに必要な、
めんどくさい作業を代わりにやってくれます。

実際に、触ってみましょう。

Pickles Framework は、ローカルに立てたサーバーで簡単に動かせます。

Windows なら “XAMPP” 、MacOSXなら “MAMP” がオススメです。



XAMPP (on Windows)



MAMP (on MacOSX)

まずは、ソースコードをダウンロードします

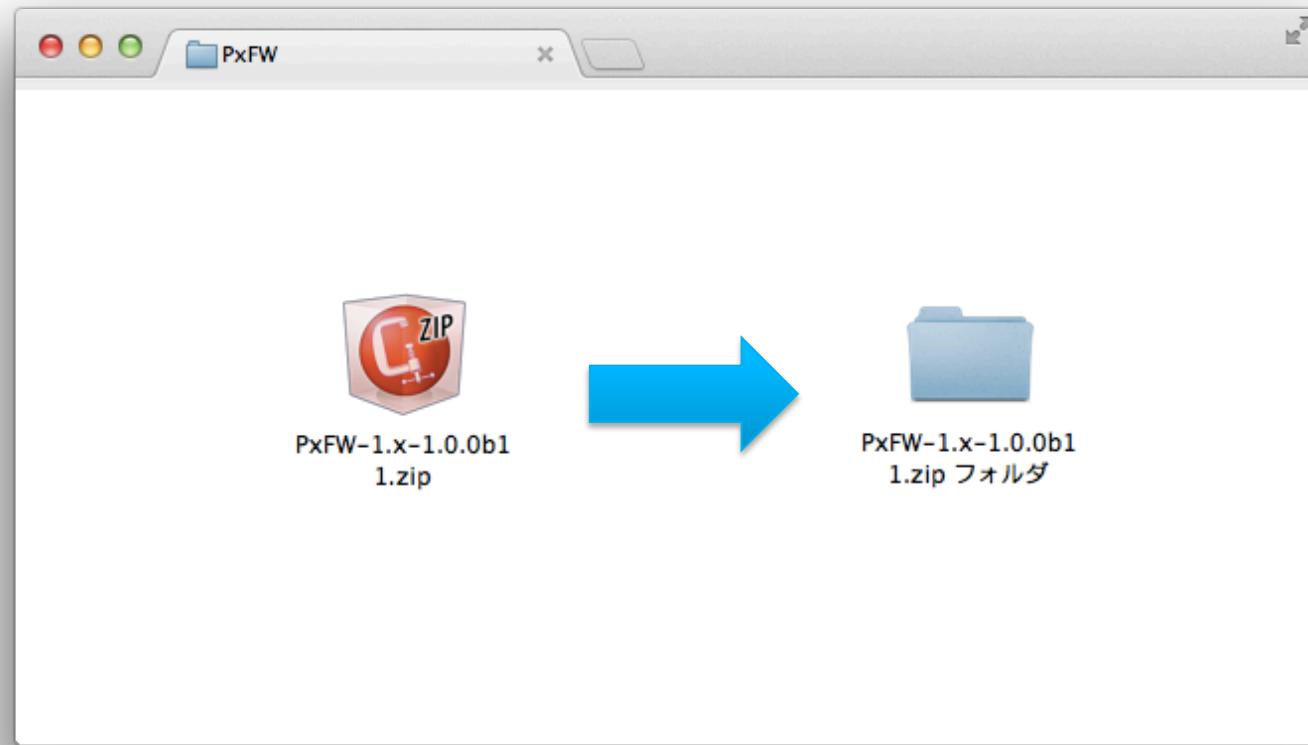
Pickles Framework の公式サイトでお待ちしています。



<http://pickles.ptx.jp/download/>

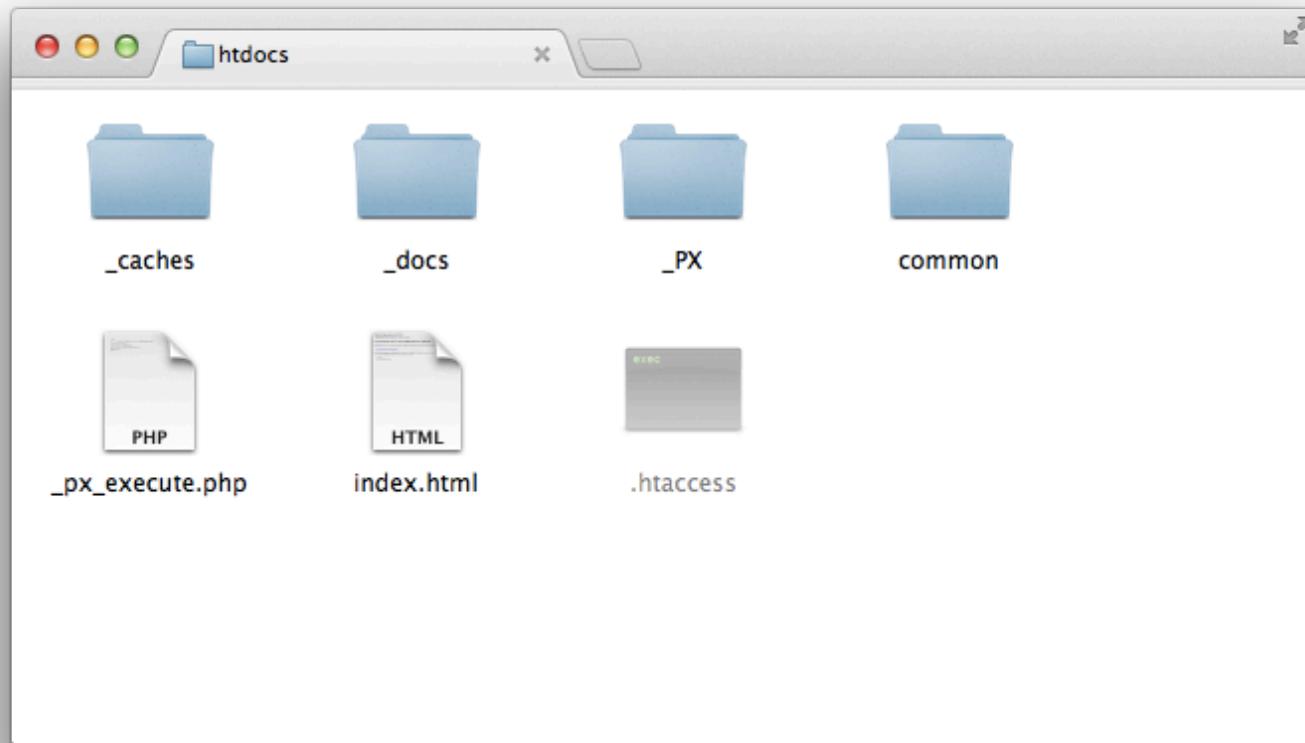
ダウンロードしたZIPファイルを解凍します

ただのZIPファイルです。お好きなアーカイブツールを使ってください。



ファイルをウェブサーバーにアップロードします。

PHP5が動作するサーバーなら、だいたい動きます。



これだけで、セットアップは完了です



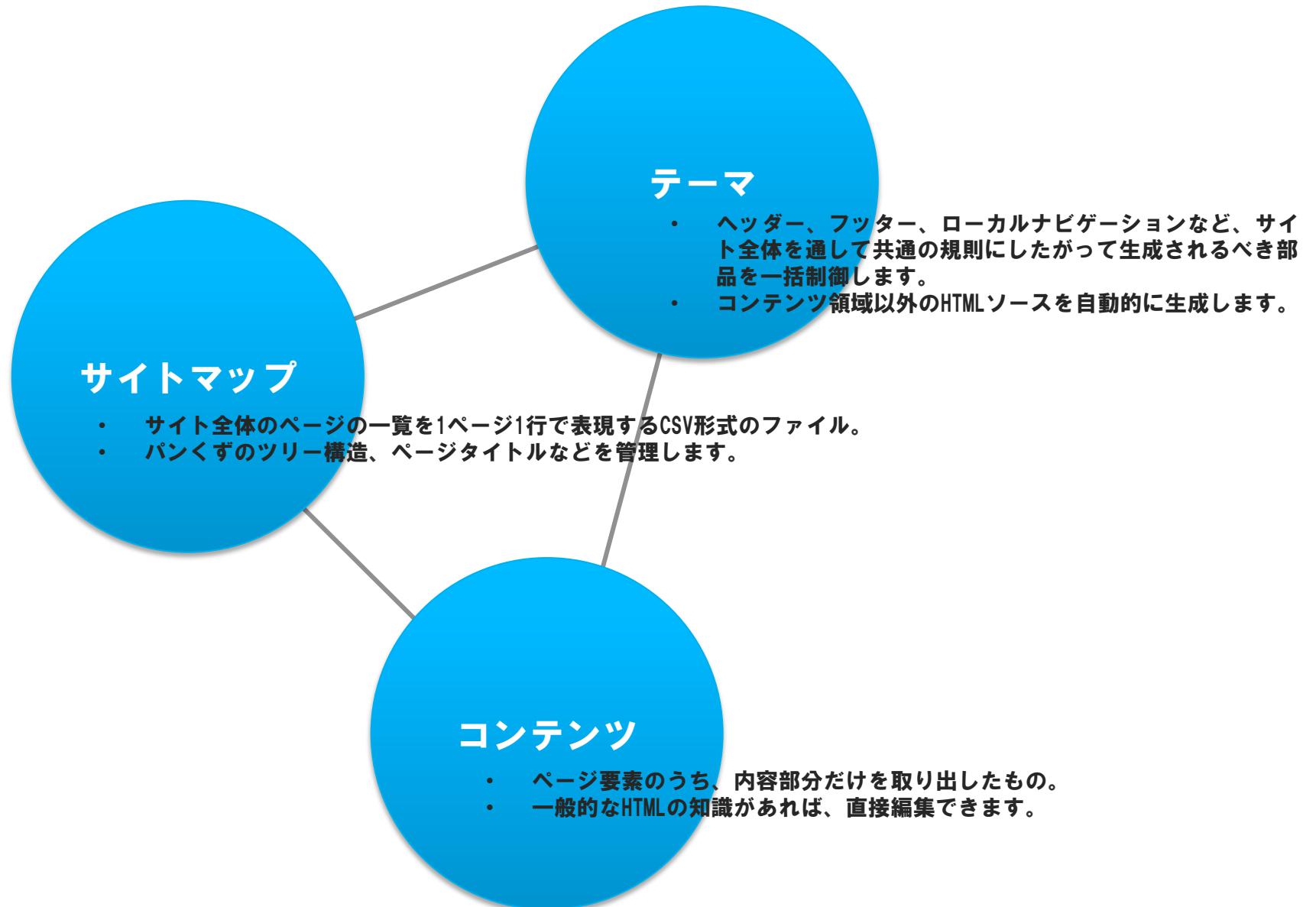
※サーバーの種類や設定によって、パーミッションの設定が必要になる場合があります。

たった、これだけです。

- ・ 特殊なコマンドを覚える必要はありません。
- ・ データベース・サーバーを用意する必要もありません。
- ・ XAMPP や MAMP を使って、あなたのパソコン上でも簡単に動かせます。

ウェブページを作ってみます

1. サイトマップを編集します
2. テーマを編集します
3. コンテンツを編集します



まずははじめに、サイトマップ（ページリスト）を作ります

エクセル形式で誰でも簡単に編集できます。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "PxFW_pickles.pxt.jp_sitemap_20131". The ribbon tabs include ホーム, レイアウト, テーブル, グラフ, SmartArt, 数式, データ, 校閲. The formula bar shows "S21". The toolbar includes various icons for file operations, text, and tables.

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
2													
3		「Pickles Framework official website」 サイトマップ											
4	Exported: 2013-11-18 09:28:57												
5													
6													
7	ページID	ページタイトル				ペ	ペ	ペ	ページのパス			コン	
8	id	title				tit	tit	tit	path			cont	
9	TOP	トップページ							/				
10	A-0	Pickles Frameworkとは？							/about/				
11	B-0	ダウンロード							/download/				
12	B-1	更新履歴							/download/changelog.html				
13	B-2	バージョン番号の見方							/download/about_version_number.html				
14	C-0	セットアップ手順							/setup/				
15	D-0	チュートリアル							/tutorial/				
16	E-0	マニュアル							/manual/				
17	E-1	コンフィグ							/manual/configs/				
18	E-2	コンテンツ							/manual/contents/				

サイトマップ(ページリスト)をインポートします

作ったエクセルファイルを、専用の管理画面にドラッグしましょう。
※この手順には、sitemapExcelプラグインが必要です。

The screenshot shows the Pickles Framework management interface with the URL `officialweb.pxfw.localhost/?PX=plugins.sitemapExcel.import`. The main area displays the `plugins.sitemapExcel` configuration page. On the left, there's a sidebar with two sections: "サイトマップ(xlsx形式)" and "サイトマップCSVの上書き". The main content area has a form for importing an Excel file. It includes a file selection input, a "または" (Or) link, and a dashed yellow rectangular area with the text "ここにエクセルファイルをドロップしてください。" (Please drop your Excel file here). To the right of this form is a preview window showing a sample Excel spreadsheet with data from row 1 to 5. A large blue arrow points from a small green file icon at the bottom of the preview window towards the dashed drop zone.

plugins.sitemapExcel

インポートする

サイトマップ(xlsx形式)	ファイルを選択してください : <input type="file"/> 選択されていません または ここにエクセルファイルをドロップしてください。
サイトマップCSVの上書き	<input checked="" type="radio"/> サイトマップCSVを直接上書きする (現在のサイトマップCSVは失われます) <input type="radio"/> 直接上書きはせず、ダウンロードする。

インポートを実行する

PxFW_pxfw_sitemap_20131230_1651.xlsx

standard: [config](#) | [sitemap_definition](#) | [sitemap](#) | [pageinfo](#) | [themes](#) | [edit](#) | [rdb](#) | [search](#) | [initialize](#) | [fillcontents](#) | [publish](#)

サイトマップの構造が、画面に反映されます

エクセルの内容の通りに、ナビゲーション構造が自動的に生成されます。
もちろん、リンクをクリックして遷移することも可能！

マニュアル | Pickles Framework

localhost:9999/manual/

Pickles Framework

マニュアル

Content file is not found.

トップページ

- Pickles Frameworkとは？
- ダウンロード
- セットアップ手順
- チュートリアル
- マニュアル

コンフィグ

コンテンツ

サイトマップ

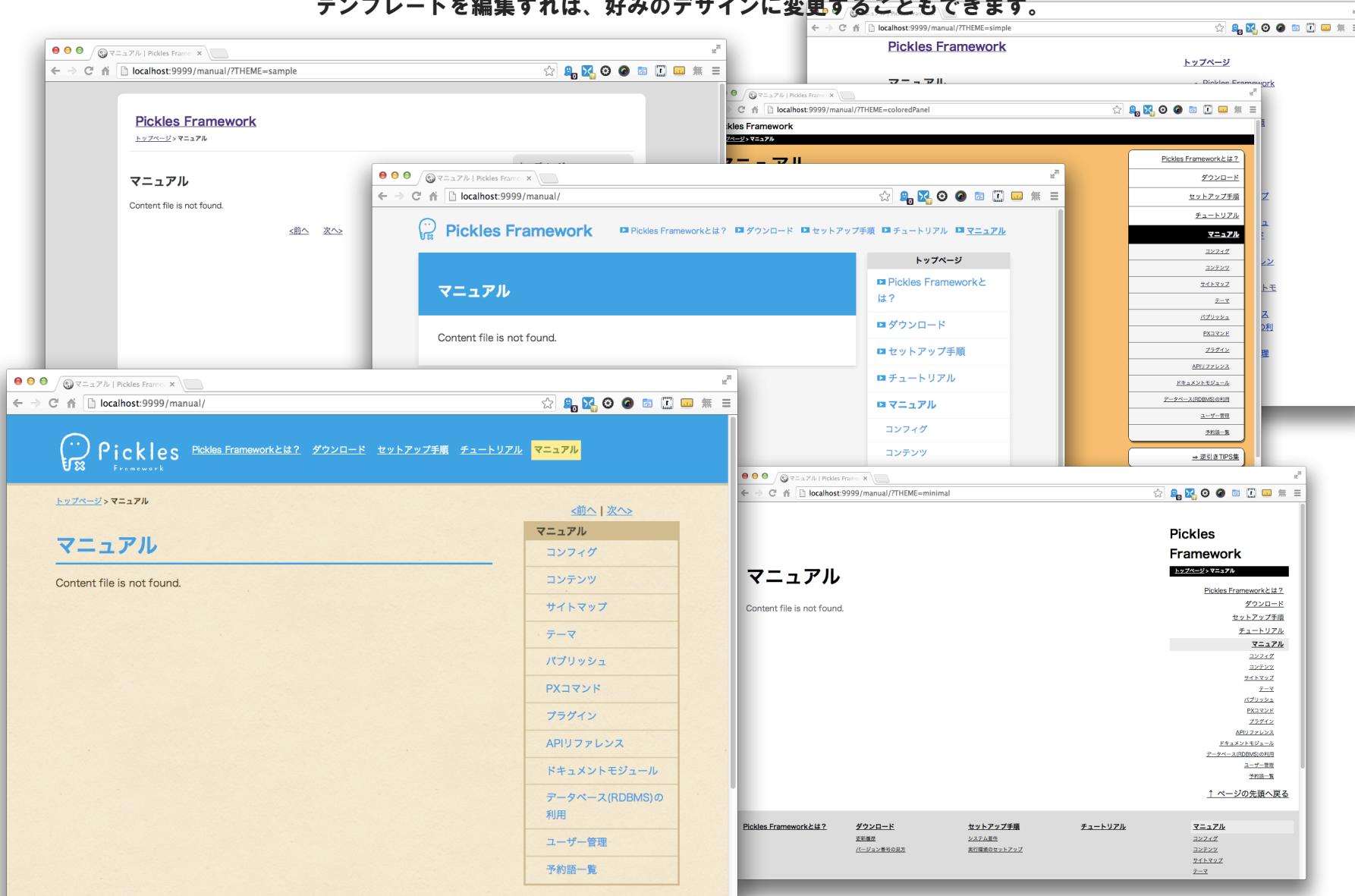
テーマ

パブリッシュ

PXコマンド

テーマを編集します

テーマを選んで、あなたに合ったデザインに変更しましょう。
テンプレートを編集すれば、好みのデザインに変更することもできます。



コンテンツを制作します

コンテンツは、ウェブページの内容部分のことです。
テーマによって自動的に生成できなかった部分を担います。
一般的なHTMLの知識があれば編集することができます。

コンテンツを制作します

コンテンツは、ウェブページの内容の部分。普通のHTMLで編集します。
ただし、編集が必要なのは、コンテンツの部分だけ。ヘッダーやフッターを書く必要はありません。



```
index.html
UNREGISTERED
index.html
1 <p>
2   Pickles Framework は、静的でたくさんのページを持つウェブページを効率よく構築する
3   ことを目的とした、PHP5で動作するフレームワークです。<br />
4   ウェブサイト構築の初期から導入し、プロトタイプを作成しながら進められるようなフレ
5   キシブルな制作スタイルを実現できます。<br />
6 </p>
7 <ul class="nomark">
8   <li class="nomark-li right"><a href="/about/" class="icon">もっと詳しく</a></li>
9 </ul>
```

UTF-8, Line 1, Column 1 | Tab Size: 4 | HTML

コンテンツを制作します

作ったコンテンツをサーバーにアップすれば、テーマの中に入れられてウェブページが完成です。
同じように、ほかのページもどんどん作っていきましょう。

The image displays three separate browser windows showing different pages of the Pickles Framework documentation:

- Top-left window:** Shows the main homepage with the Pickles Framework logo and a brief introduction. It includes a sidebar with links to "マニュアル", "コンフィグ", "コンテンツ", "サイトマップ", "テーマ", "パブリッシュ", "PXコマンド", "プラグイン", and "APIリファレンス".
- Top-right window:** Shows the "マニュアル" (Manual) page. The sidebar lists "マニュアル", "コンフィグ", "コンテンツ", "サイトマップ", "テーマ", "パブリッシュ", "PXコマンド", "プラグイン", and "APIリファレンス". The main content area is titled "マニュアル" and contains a list of topics such as "コアオブジェクトクラス", "プロジェクトクラス", etc.
- Bottom-right window:** Shows the "APIリファレンス" (API Reference) page. The sidebar lists the same categories as the other windows. The main content area is titled "APIリファレンス" and lists several classes: "px_px (\$px)", "px_cores_error (\$Error)", "px_cores_dbh (\$Sdbh)", "px_cores_site (\$Site)", "px_cores_req (\$Req)", and "px_cores_user (\$User)".

ウェブページをパブリッシュします

作成したままのウェブページは、そのまま公開することができますが、PHPの動的なままでは都合がよくない場合も多いでしょう。

スタティックなHTMLをパブリッシュすれば、どんなウェブサーバーでも公開することができるようになります。

パブリッシュ画面を開きます

操作は簡単。URLに ?PX=publish をつけると表示される管理画面から、ボタンをクリックするだけです。

The screenshot shows two browser windows side-by-side. The left window displays the 'publish' interface for the 'Pickles Framework (version:1.0.0b11-nb)'. It includes a sidebar with 'Pickles Framework (pxfw)' and a main area titled 'publish' with the sub-section 'プロジェクト『Pickles Framework』をパブリッシュします。'. A table lists settings: 'パブリッシュ対象のパス' set to '/about/' with a link to '変更する', and '適用するテーマ' set to 'default'. The right window shows the command-line output of the 'publish' command, which includes the framework version, the command executed, the process ID, the date and time, and detailed information about the publish directory, including files and folders excluded from publishing.

publish | Pickles Framework (version:1.0.0b11-nb)
project "Pickles Framework" (pxfw)

PX command "publish" executed.
ProcessID=9357
2013-12-30 17:03:42

path_docroot_dir => [REDACTED]
path_tmppublish_dir => [REDACTED]
path_lockfile => [REDACTED]
path_publish_dir => [REDACTED]
path_target => /*
paths_ignore =>
- [REDACTED]
- [REDACTED]
- [REDACTED]
- */.DS_Store
- */Thumbs.db
- *.nopublish/*
- */.svn/
- */.git/
- */.gitignore

* cleaning publish dir.
/_caches/readme.txt
/_caches/themes/default/css/common.css
/_caches/themes/default/css/layout.css
/_caches/themes/default/css/modules_custom.css

次のボタンをクリックしてパブリッシュを実行してください。

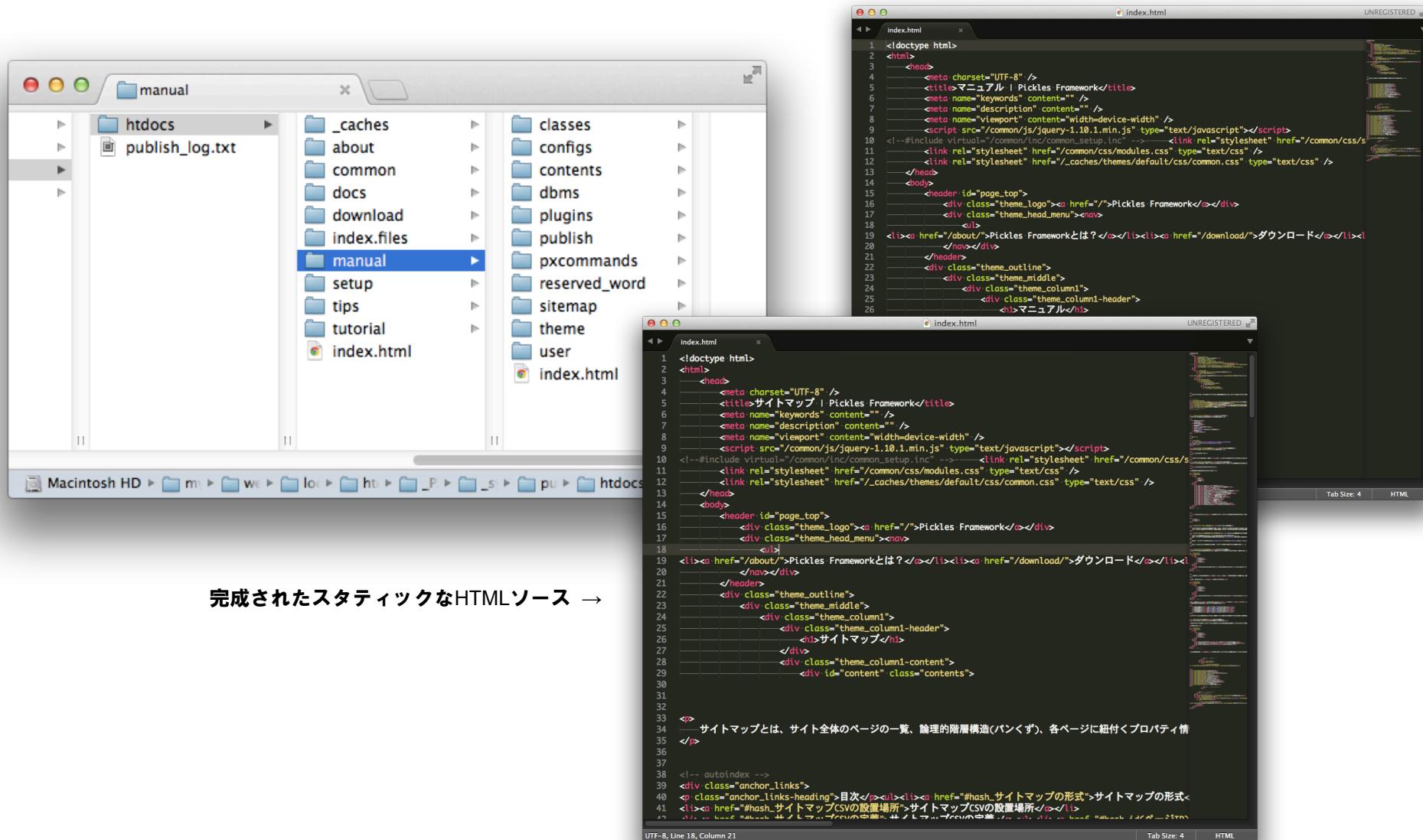
パブリッシュを実行する

コマンドラインから実行する

パブリッシュする際のコマンドから実行オプションをスキップ

スタティックなHTMLファイルが生成されます

テーマとコンテンツが合成され、完成されたHTMLを生成します。
これなら、特別な設定やPHPが動作する必要もなく、どんなウェブサーバーでも公開することができます。



これで完成です！

- あとは、このようにして生成されたHTMLを、公開サーバーに設置するだけ。

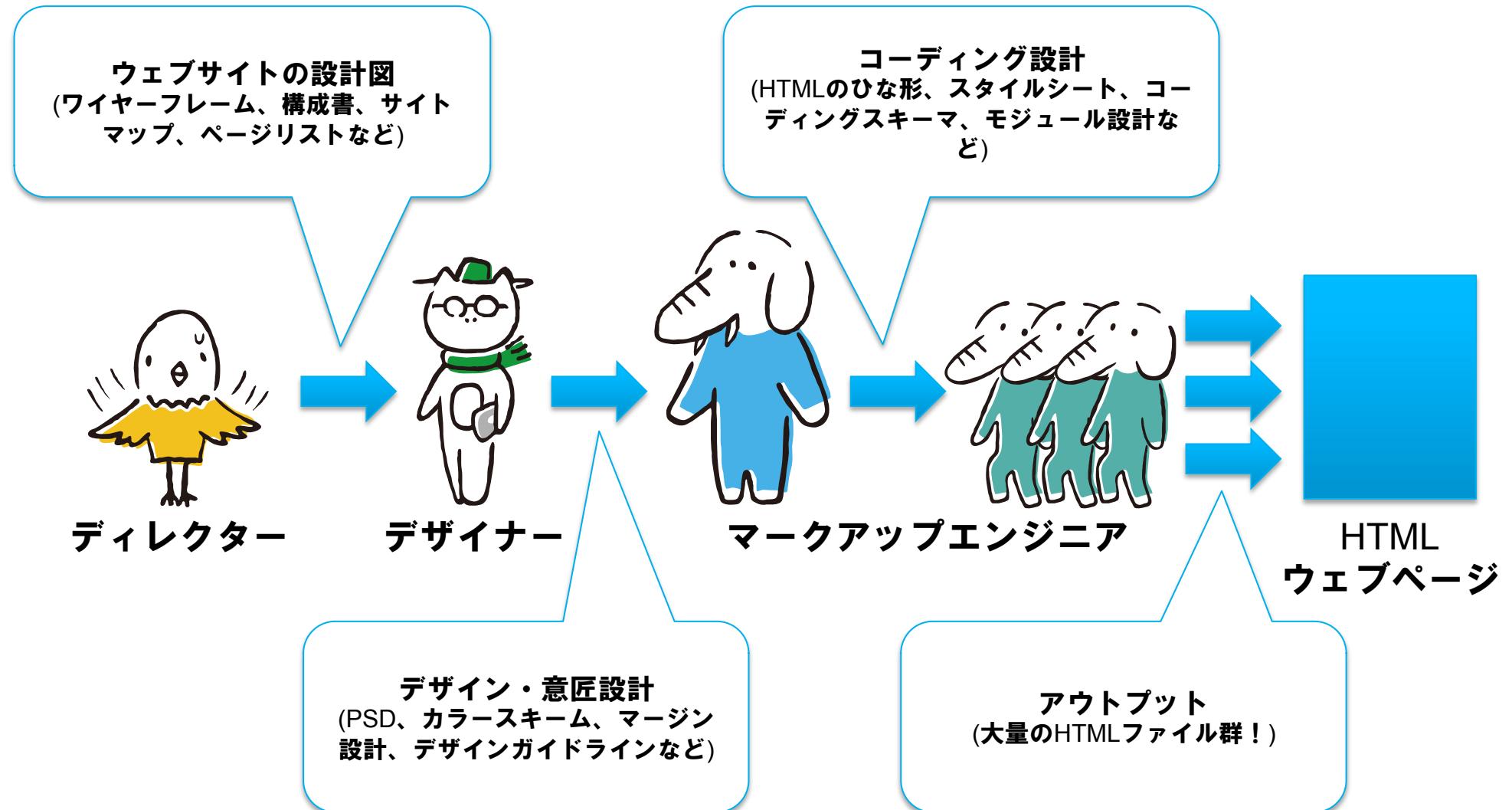
ぜひ一度、さわってみてください。

きっと、ウェブ制作がスムーズになります。
制作に携わるチームのみんなが、納得できるワークフローに変わります。

そうすることで、これまでのウェブ制作のお仕事を、
より創造的で、より充実した時間に変えることができると思います。

ウェブ制作の現場では、分業で仕事をすることが多くなりました。

分業だから、コミュニケーションのための中間成果物がたくさん必要。



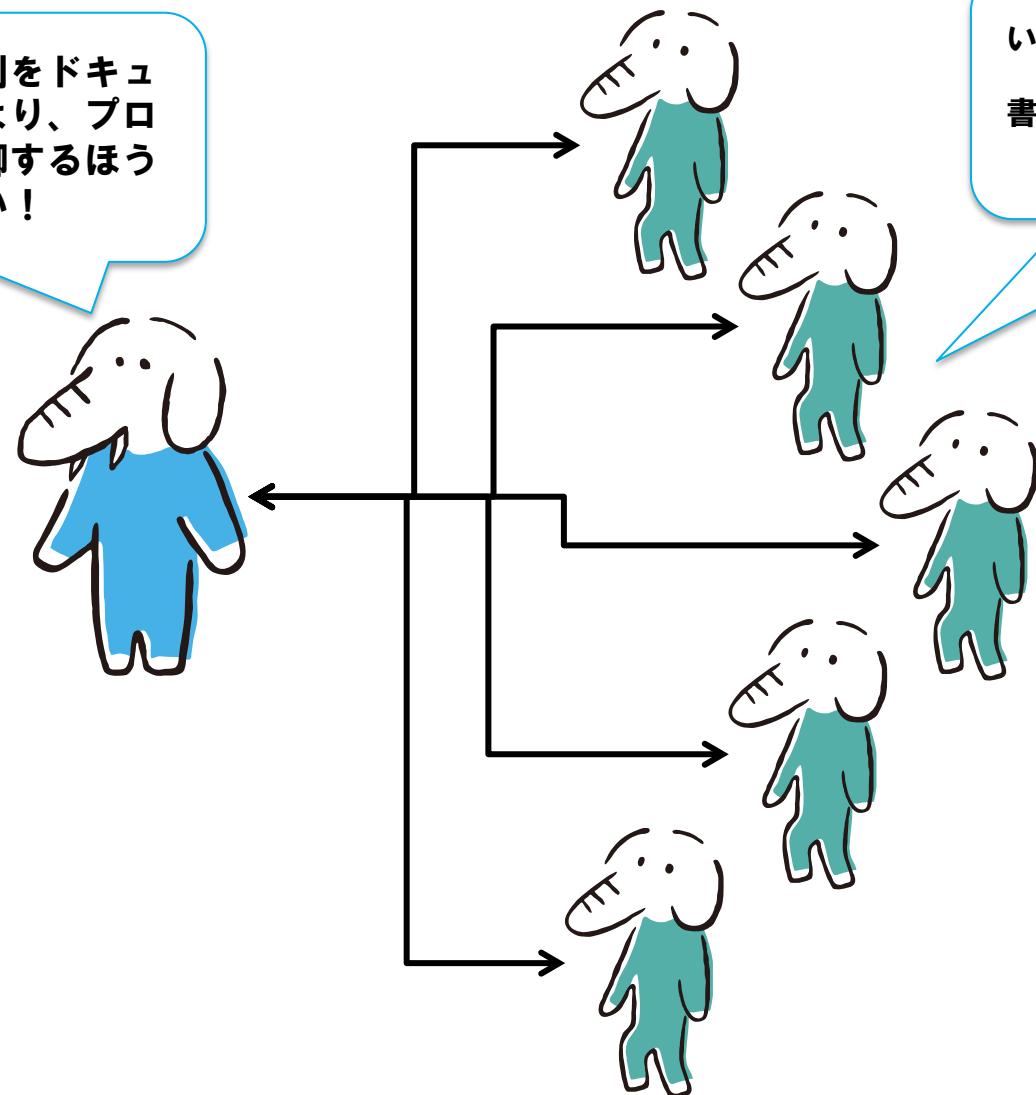
大人数で作業する際のコミュニケーションを減らします

コーディングの規則をドキュメント化して配るより、プログラムを書いて制御するほうが確実で早い！

マークアップ
エンジニア
(チーフ)

いろんなコピペの手順を省けるから
仕事がサクサク進む！
書く場所が少ないので、ミスも起きにくい！

マークアップ
エンジニアたち

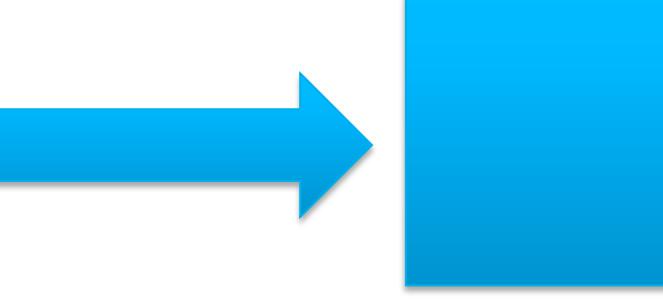
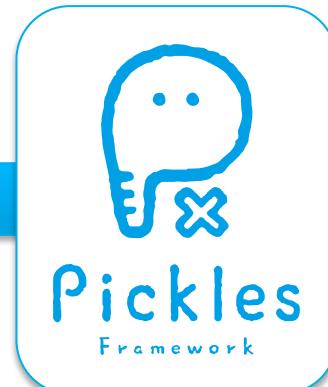


ディレクターが設計したら、すぐにウェブページができてしまう！（ように、将来はなりたいと思います）

PxFWを通じてウェブサイトを設計すると、そのままダイレクトにウェブページが作れる、そういうツールにしていきたいと思います。



ディレクター



HTML
ウェブページ



デザイナー

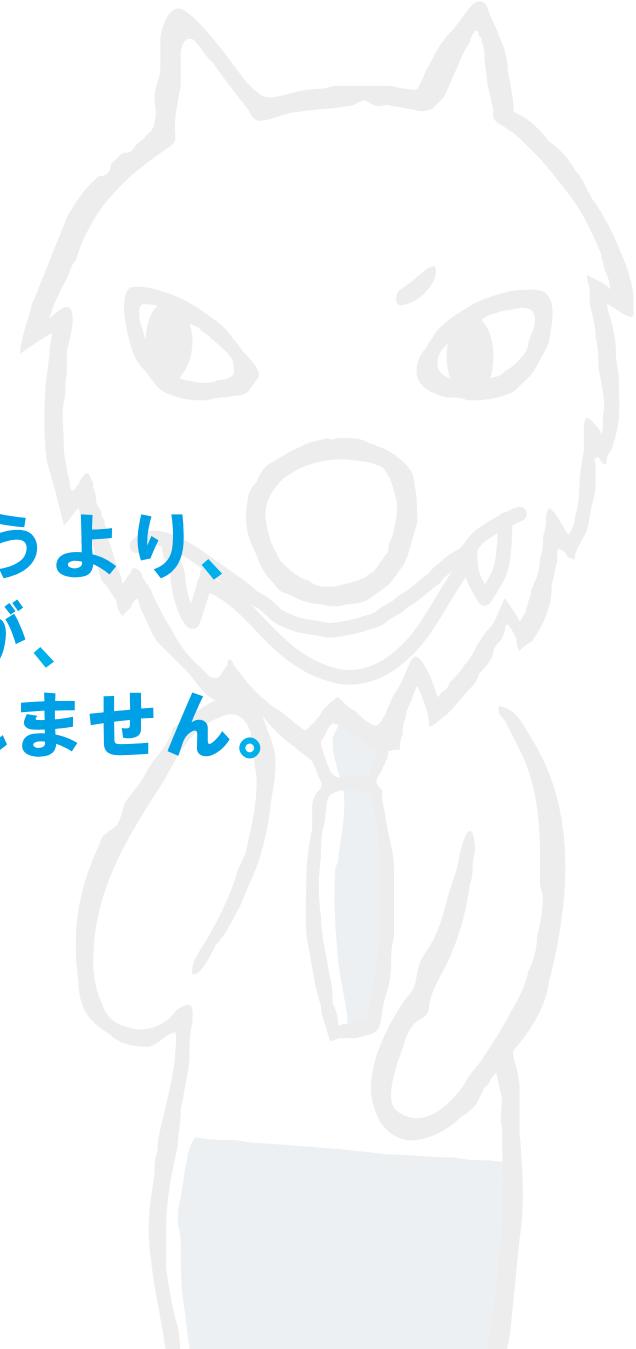


マークアップ
エンジニア

デザインのルールと、
部品になるイメージを
作ります！

デザイナーがデザインした色やレイ
アウトの規則を、PxFWの編集ツー
ルのUIに反映します！

“フレームワーク”と言うより、
“CMS”と呼んだ方が、
イメージが近いのかも知れません。



CMSといえば、例えばこういうの。



Autonomy
TeamSite

NOREN
FOR WEB BRANDING

SDL tridion

WebRelease 2

 **CQ5**

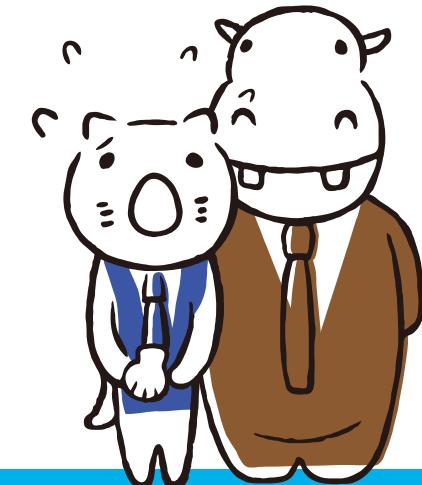
MOVABLE TYPE™

 **Soy CMS**

 **PUKIWIKI**

 **sitecore®**

 **WORDPRESS**



CMSの多くは「帯に短し襷に長し」、なかなか手軽に使えません。

こんなにたくさんある便利なCMSたち。 静的なウェブ制作の仕事にも使えばいいじゃないか！

- ・ セットアップが大変。データベース・サーバーがないと動かない。
- ・ 編集の手段が制限される。WYSIWYGなどウェブアプリ上の管理画面でしか編集できない。
- ・ 編集したデータはデータベースに入ってしまうので、あとから加工するのが困難。
- ・ 有料のCMSは、データ連携などマーケティング機能の統合がトレンド。高機能すぎて使いにくい。
- ・ 高価すぎる。

「帯に短し襷に長し」
静的なウェブサイトの制作には、なかなかマッチしません。

ウェブサイトの設計ツール（ワイヤーフレーム作成ツール）といえば、例えばこういうの。



Power Mockup



PowerPoint



proto**share**[®]
ideas made interactive



Excel

オンラインローディングツール



Balsamiq Mockups



SIMPLEDIAGRAMS

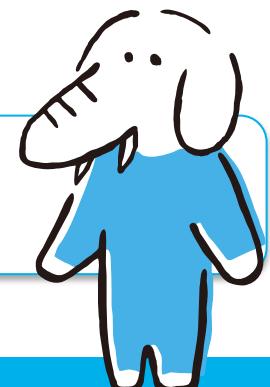


Smart Canvas



PENCIL PROJECT

ワイヤーフレーム作成ツールから、
HTMLファイルに書き出す機能はないようです。



Pickles Framework は、 、 、

- ・ “CMS” や “ウェブ設計ツール” からのイイトコドリ。
- ・ 大型のウェブ制作プロセスを円滑にするフレームワークです。

ありがとうございました！

～Pickles Framework のダウンロードについて～

- Pickles Framework は、オープンソースのフレームワークとして、Github上で有志により開発されています。
- より詳しい情報は、Pickles Framework の公式サイトをご覧ください。
<http://pickles.pxt.jp/>
- ご要望やバグなどにお気づきの方は、Github Issue に投稿してお知らせください。みなさんのご協力をお願いします！
<https://github.com/tomk79/PxFW-1.x/issues>
- 一緒に開発に参加してくれる方も募集しています。